

令和6年度 第2回 神奈川県立伊勢原高等学校運営協議会 (議事録)

I 日 時

令和6年11月 12日（火）15:00～16:30

II 場 所

県立伊勢原高等学校 会議室

III 出席者

(委員7名)

石田 誠 様（伊勢原高等学校 P T A会長代行 副会長）

田中 昇 様（伊勢原高等学校同窓会長）

宮林 貴子 様（伊勢原市立山王中学校長）欠席

成川 忠之 様（東海大学経営学部 教授）

鈴木 裕也 様（伊勢原北地区青少年健全育成協議会青少年指導員、平成 26 年度 P T A会長）

成田 幸保 様（田中自治会長）

元橋 洋介（伊勢原高等学校長）

(学校職員12名)

管理職 杉山副校長、宇田川全日制教頭、北村定時制教頭

G L 池谷（学務）、高木（キャリア）、川井（生徒支援）、磯崎（学校管理）、
斎藤（英）（生徒指導）、天野（研究渉外）、中尾（定：カリキュラム／生徒支援）
梶本（定：生活・保健／学校管理運営）

記録 福田（研究渉外）

IV 概要

開会前 授業見学【13:25～14:30】

【第一部】 全体会、学校運営協議会・学校評価部会【15:00～15:50／会議室】

1 校長挨拶

2 令和6年度学校評価（中間報告）について

・各GLより説明

[定時制] 「資料1」を定時制GLから説明。

ア 教育課程

- ・様々な背景をもつ生徒へ、ニーズに応じた支援を行った。
- ・上記の取り組みにより、生徒の取り組み姿勢の向上が見られた。
- ・授業互換も行った。

イ 生徒会・生徒指導

- ・明鏡祭（文化祭部門）において、定時制独自の後夜祭を実施。
- ・人権研修の実施。
- ・SCやSSWとの連携。全員面談の実施。

- ・伊勢原支援学校の巡回相談員と連携。
- ・サポートドックアンケートの際に、生活アンケートも実施

ウ 進路指導

- ・卒業学年には、ハローワークによる就職ガイダンスの実施
- ・面談を通して、進路希望先とのマッチングを確認した。

エ 地域との協働

- ・清掃など地域貢献活動の実施
- ・広報：HPの更新を積極的に行った。

オ 学校管理

- ・不祥事防止研修の実施
- ・シェイクアウト訓練の実施
- ・代表生徒と教員が災害体験に参加し、校内でフィードバックを行った。

(質疑：定時制)

- ・キャリアを考え始める時期について、具体的にどのタイミングで行っているか。
→入学時の適性検査や総合学習などをを利用して行っている。
- ・就職後のフォローはあるか。
→療育手帳のある生徒については、支援をしてくれる福祉機関と連携を取ることがある。
- ・12月の授業評価の目標値は。
→低い項目をのばしたい。人前で発表する機会を増やしていく。
- ・不登校気味の生徒に対して、ICTを活用したフォローを行っているか。
→ICT機器を利用した学習法もあるということを提示している。

[全日制] 「資料1」を全日制GLから説明。

ア 教育課程・学習指導（学務GL）

- ・新しい教育課程については、現状課題はない。
- ・公開研究授業の実施に向けて、教科会を複数回実施した。
- ・授業見学週間の実施

イ 生徒指導・支援（生徒指導GL・生徒支援GL）

- ・明鏡祭の実施。生徒同士協力する姿が見られた。
- ・サポートドック面談の実施。SCやSSWにつなげた。

ウ 進路指導（キャリアGL）

- ・総合型選抜で結果がではじめている。
- ・入試情報などの情報集約を進める。

エ 地域との協働（研究渉外GL）

- ・地域貢献活動の充実→清掃に代わる新たな形式を模索中。
- ・オープンスクールの実施。
- ・HPにて各部活の様子も随時更新中。

オ 学校管理・学校運営（学校管理GL）

- ・事故、不祥事防止に向けた取り組みについて、アンケートの実施
→回答率向上に向けて、ICT機器を利用している。
- ・防災倉庫の見学・確認を行った。

(質疑：全日制)

- ・教育課程について「課題はない」とのことだが、検証はしているのか。
→学務GとキャリアGで連携する必要があり、急な情勢の変化によって大きく変わることがあるので、適宜見直すことにしている。
- ・キャリア学習は就職希望者のみか。

→大学・専門学校等の先を見据えた学習なので、全員取り組んでいる。

以下 要望・ご意見

- ・地域貢献活動の新しい形の案として、小中学校のPTAは、高校生の手伝いがあると助かることがある。
- ・就職後の「辞めない」フォローを期待している。
- ・校内がきれいで、生徒が過ごしやすいと感じた。
- ・登下校中に横一列で並んで歩いていることが多いので、注意喚起してほしい。

3 3年進路概況

- ・各課程から報告。
- ・就職については、悪印象にならないように意識的に声掛けをしている。
- ・今まででは、偏差値重視で進路を決める傾向にあったが、現状は、生徒が「行きたいところ」「やりたいこと」で決めるようになった。
- ・欠席数を重要視する傾向にあるので、指導をしていきたい。

4 質疑応答

第一部の2で行った。

第二部 教育活動部会・地域連携部会【15:50～16:30／会議室】

○ 合同部会（教育活動部会、地域連携部会）

1 明鏡祭振り返り

- ・台風の影響により、順延で実施。来場者は、前年の三分の一になった。
- ・開催の有無については、学校組織全体で検討を重ねた。

2 各学年の様子

[全日制]

(1年)

- ・全体的に活動に積極的に取り組む生徒が多い。
- ・大山ウォーク実施。

(2年)

- ・修学旅行を実施。

(3年)

- ・進路実現に向けて、頑張っている。
- ・入試が終わった生徒も、学校生活に前向きに取り組んでいる。

[定時制]

- ・大多数がしっかりと学校に通うことができている。
- ・学校に足が向かない生徒は、担任がフォローしている

3 部活動実績

[全日制]

資料2の通り。どの部活動も盛んに行われている。

[定時制]

バスケットボール：北相地区球技大会 3位

バドミントン：男女各1名 神奈川代表としてベスト12入り

生徒生活体験発表会 3位

4 質疑応答

なし

5 その他

第3回は、3月に実施予定。

(資料)

- 1 学校評価システムの手引き
- 2 県立学校における学校評価システムに係る実施要綱
- 3 令和5年度学校評価報告書（実施結果）
- 4 令和6年度グランドデザイン（スクールポリシー、スクールミッション含）
- 5 学校教育計画（令和6年度～令和9年度）
- 6 令和6年度学校評価報告書（目標設定）
- 7 令和5年度不祥事ゼロプログラムの検証等
- 8 令和6年度不祥事ゼロプログラム
- 9 令和5年度 進路実績（全日制・定時制）
- 10 令和5年度 部活動の主な成績（全日制・定時制）

追加資料：神奈川県立伊勢原高等学校におけるコミュニティスクール（学校運営協議会）設置について